

パソコンの非常時対策

- ◎ パソコンの非常時に備え、データ類をバックアップする。
(システムドライブ「C」以外のドライブにデータ類を退避させておく)

(I) 「My Document」(写真・データなどの保存フォルダ)

(デフォルトでは、「C:\Document and Settings\ユーザー名\My Document」)

「リンク先」を「D:\MyDocument」に変える。

- 「D」ドライブ内に「My Document」フォルダを新規に作る。
- 「スタート」→「マイドキュメント」右クリック→「プロパティ」→「ターゲット」タブ
→「移動」ボタン
- 「マイコンピュータ」→「D」ドライブ→「My Document」を左クリックで反転→「OK」
- あと、移動確認画面が現れたら「はい」「すべて移動」

(II) 「受信メール」

(デフォルトでは、「C:\Documents and Settings\ユーザー名\Local Settings\Application Data\Identities\{516BD6C4-DD25-42D6-859E-E64377926659}\Microsoft\Outlook Express」)

「ストアの場所」を「D:\メール」に変える。

- 「D」ドライブ内に「メール」フォルダを新規に作る。
- 「Outlook Express」を立ち上げ、「ツール」→「オプション」→「メンテナンス」タブを開く。
- 「保存フォルダ」ボタンをクリック。
- 「保存場所」の画面で「変更」をクリック。
- 「フォルダの参照」画面で、(a)で作った「D」ドライブ内の「メール」を左クリックで反転→「OK」
- 「新しいストアの場所は・・・」の確認画面で「OK」

(III) 「お気に入り」

(デフォルトでは、「C:\Document and Settings\ユーザー名\お気に入り」)

「お気に入り」を「D」ドライブに移動する。

- 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「エクスプローラ」を開く。
- 左のフォルダで「マイコンピュータ」→「ローカルディスク(C)」→「Documents and Settings」
→「ユーザー名」をクリック。
- 右画面の「お気に入り」のアイコンを、右クリックしたまま左の「ローカルディスク(D)」の
上に、ドラッグ&ドロップ。
- 現れたドロップダウンメニューで「ここに移動」を選ぶ。
- あと、ファイルの移動の確認画面がでたら「すべて移動」を選ぶ。

(IV) 「インターネット一時ファイル(Temporary Internet Files)」

(デフォルトでは、「C:\Documents and Settings\ユーザー名\Local Settings\Temporary Internet Files」)

「Temporary Internet Files」を「D」ドライブに移動する。

- (a) 「Internet Explorer」を立ち上げ、「ツール」→「インターネットオプション」→「設定」ボタンをクリック。
- (b) 「設定」画面で「フォルダの移動」をクリック。
- (c) 次の画面で、「ローカルディスク(D)」を選択し「OK」

(V) 「アドレス帳」

(デフォルトでは、「C:\Documents and Settings\ユーザー名\Application Data \Microsoft\Address Book」)

保存場所は変更できないが、コピーファイルとして、「D」ドライブに保存する。

- (a) 「D」ドライブ内に、「アドレス帳」フォルダを新規に作っておく。
- (b) 「Outlook Express」を立ち上げ、「ツール」→「アドレス帳」→「ファイル」→「エクスポート」→「アドレス帳(WAB)」
- (c) 保存画面で、「保存する場所」=先に作ってあった「D」内の「アドレス帳」
「ファイル名」=「アドレス帳(H18-5-30)」(一例)と書き込んで、「保存」

(VI) 「IME ユーザー辞書」

(デフォルトでは、「C:\Documents and Settings\ユーザー名\Application Data \Microsoft\IMJP8_1」)

- (a) 「D」ドライブ内に、「ユーザー辞書」フォルダを新規に作っておく。
- (b) 画面右下の言語バーの「ツール」→「プロパティ」→「辞書/学習」タブを開く。
- (c) 中ほどの「参照」をクリック。
- (d) 「ユーザー辞書の設定」画面の中の「imjp81u.dic」ファイルの上で右クリック→「コピー」。
- (e) 画面をそのまま、「スタート」→「マイコンピュータ」→「ローカルディスク(D)」→「ユーザー辞書」を開き、画面の上で右クリック→「貼り付け」。
- (f) (d)の画面に戻り、上の「ファイルの場所」の右端の下矢印をクリックして、「D」ドライブの中の「ユーザー辞書」を表示→画面の「imjp81u.dic」をクリック。
- (g) 「ユーザー辞書」の「ユーザー辞書名」で「D:\ユーザー辞書\imjp81u.dic」が確認できたら「D」ドライブへの移動完了。

(VII) 「その他」

「アカウント」など設定事項は、それぞれを「ハードコピー」して、「D」ドライブに保存する。

[ハードコピーの仕方]

- (1) 保存したい画面が表示された状態で、キーボードの「Print Screen」(「Prt Sc」のキーもある)を押す。(ノートパソコンの場合は、「Fn」+「Prt Sc」)
- (2) 「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ペイント」を開く。
- (3) 画面上で、メニューバー「編集」→「貼り付け」。
- (4) メニューバーの「ファイル」→「名前を付けて保存」で、保存場所、ファイル名を入れて保存する。